

最近、物忘れが気になる？

「最近、もの忘れが目立つようになった」、「同じことを何回も聞くようになった」、「会社でミスが多くなったと上司から注意された」、「大事なものを置き忘れ、盗られたとあって騒ぐことが多くなった」、「よく知っているはずの道で迷い、他人に家まで連れてきてもらった」、「以前は几帳面であったが、最近だらしくなり、身なりも無頓着となった」などといった訴えで、受診される患者様が増加しております。

これら認知症(痴呆症)が疑われる患者様のなかで、早期発見することで高い治療効果が期待できる病気も多くわかってきております。しかし、「年齢もあるし、しかたがない」などと医療機関に受診されないで放置し、治療の機会をのがしてしまっていることも多いようであります。

<比較的治療効果が高い認知症> ご存知ですか？こんなにたくさんあります！！

①脳血管疾患 ②慢性硬膜下血腫 ③正常圧水頭症 ④脳腫瘍 ⑤脳炎、髄膜炎 ⑥腎不全、肝不全、慢性心肺機能不全 ⑦低酸素脳症 ⑧甲状腺機能低下症、Addison 病 ⑨ビタミン B1・B12 欠乏症 ⑩慢性アルコール中毒 ⑪薬剤性(向精神薬、抗うつ薬、眠剤、抗てんかん薬、抗パーキンソン病薬、抗潰瘍薬、ステロイド、経口糖尿病薬、インスリンなど)

<必要な検査>

血液検査、胸部レントゲン、心電図、脳 CT、脳 MRI、脳 SPECT、脳波、髄液検査など

特に脳血管疾患については高血圧、糖尿病、高脂血症などの日ごろの内科治療が重要であります。また認知症(痴呆症)は神経科等、いろいろな科との連携が必要です。年のせいだからとあきらめずに、まずは医療機関への受診をすすめられてはいかがでしょうか？

(文責：丸本)

【播磨病院内科疾患情報のバックナンバーは、播磨病院ホームページ

<http://www.harima-hp.jp/main.htm> からご覧いただけます。】